

授業と評価の年間計画

教 科	理数	科 目	スーパーサイエンス	
履修条件 対象生徒	必修 理数科 3年			
学習目標	1 自然科学に対する興味・関心を高め、探求する能力や表現力を身に付ける。 2 主体的に活動する能力を向上させ、プレゼンテーション能力を身に付ける。 3 将来の科学技術系人材を目指し、モチベーションの高い生徒になる。			
学習方法	【授業】 2年間の研究のまとめとして、課題研究の論文の作成を行う。課題研究の論文を作成することで、研究内容の整理や深化を図るとともに、論理的な思考力、表現力を身に付ける。各種発表会等に参加し、プレゼンテーション能力を身に付ける。これらを生かして小論文や志望理由書の作成を行い、進路意識の向上させる。また、大学以降の将来像について想像することで、自身のキャリアデザインに役立てる。 【家庭】 研究論文や小論文、志望理由書などの課題を提出期限に間に合うように作成する。また、普段から最先端の科学技術系ニュースにも気を付け、将来の進路についての意識を高め、キャリアデザインに役立てる。			
学習計画 と ねらい	1 1学期 課題研究論文の作成	<ul style="list-style-type: none"> 研究の技術向上と知識の定着を図る。 研究論文を作成することで、研究内容の整理、深化を図る。 研究内容を論理的に構成し、表現する力を養う。 		
	2 2学期 (1)小論文指導 (2)キャリアデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 最先端科学技術への興味・関心を深める。 科学技術系への進路意識の向上を図る。 課題小論文の作成を通して、進学意識の向上を図る。 志望理由書の作成を通して、進学意識の向上と将来像を想像し、キャリアデザインに役立てる。 		
	3 3学期 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 専門性と進路意識の向上を図る。 3年間の振り返りを行うことで、将来に向けての展望を持たせる。 		
評価規準	知識・理解	技 能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	自然の事物・現象について、基本的な原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に整理することができる。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、科学的に考察し、的確に表現することができる。	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとする科学的態度を身に付けている。
評価方法	①取り組む姿勢、②研究論文、③小論文 以上を総合的に判断して評価する。			
そ の 他	スーパーサイエンスハイスクール指定校である本校独自の学校設定科目である。			